



ミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

つみたてNISA、6月末時点で147万口座に到達

金融庁がこのほど発表した「NISA口座・ジュニアNISA口座の利用状況調査」によりますと、平成30年1月に開始した「つみたてNISA」の口座数が、令和元年6月末時点で約147万口座に達したことが分かりました。「つみたてNISA」の口座数は本年3月末時点から15.4%増加し、NISA口座数全体の増加に大きく寄与しています。また、つみたてNISAは、20歳～40歳代が約67%を占めるなど、個人投資家のすそ野が広がりつつあります。

NISA（一般・つみたて）の総口座数は、令和元年6月末時点で約1309万口座（3月末比2.1%増）、うち、「一般NISA」は約1162万口座（同0.6%増）で、「つみたてNISA」の口座数は前述の通り、約147万口座（同15.4%増）です。NISA（一般・つみたて）の総買付額は約17兆593億円（同3.5%増）で、うち、「一般口座」は約16兆8812億円（同3.2%増）、「つみたてNISA」の買付額は約1781億円（同33.7%増）でした。

つみたてNISA口座開設者の傾向をみると、一般NISAと比べ、20歳代～40歳代による口座開設の割合が多いことが特徴です。一般NISAの口座開設者は、60歳代が約22%で最多、次いで70歳代が約21%で、20歳代～40歳代の口座開設者は合計で約30%に過ぎませんでした。一方、つみたてNISAの口座開設者は、40歳代が約26%で最多、次いで30歳代が約25%など、20歳代～40歳代が6割半ば（66.6%）を占めています。

なお、ジュニアNISA取扱全金融機関333法人を集計した結果、令和元年6月末時点のジュニアNISAの口座数は、32万8982口座（3月末比3.4%増）、その買付額は1405億8345万円（同7.9%増）となっています。平成28年1月からスタートしたジュニアNISAは、祖父母や両親が子や孫のために金融機関に専用口座（未成年者口座）を開設して投資する場合、年間80万円の非課税枠を設ける制度です。

* 詳細はこちらからご確認いただけます。

NISA・ジュニアNISA口座の利用状況調査について（金融庁）

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20190920/01.pdf>